

# 『みんなで創る』地域情報ポータルサイト G-mottyが目指すモノとは・・・

地図のまち（都）北九州！



北九州市総務局情報政策課  
塩田 淳

- 1 G-mottyが目指すもの
- 2 『みんなで創る』G-mottyを利用した地域との連携
- 3 現地調査をしてみよう！

## 1 自治体

北九州市、直方市、行橋市、香春町、苅田町、  
鞍手町（平成28年度から参画）

## 2 民間企業

(株)ゼンリン（北九州市の企業）、ESRIジャパン(株)、  
(株)福岡放送

## 3 大学

兵庫県立大学、九州工業大学

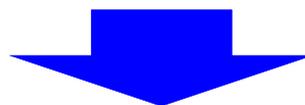
『人々の生活をより良くするために・・・』という大きな目標

業務の効率化・高度化と住民サービス向上（役所的）

『Love & Peace』・『みんながHAPPY』（G-motty的）

### 【G-mottyのブランド理念】

“地域愛”を育むことを手助けし、  
“地域らしさ”をアピールすることを後押しする。



そのためには・・・

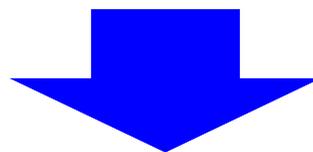
真面目にやる部分は“マジメ”にしながら、地域で楽しみながら作り上げる部分は、“地域と共に”作り上げていくプロセスが大事

## 1 民間団体

- ・タウンシップスクール黒崎マップ部
- ・Goose Loc'R(グース・ロッカー)

## 2 大学・高校(予定)

- ・西南女学院大学⇒若松区役所との共同事業実施
- ・福岡県立小倉高等学校⇒SSHの実施



民間団体や大学・高校などと共同が広がってきています！



- 1 G-mottyが目指すもの
- 2 『みんなで創る』G-mottyを利用した地域との連携
- 3 現地調査をしてみよう！



## 2-1 率先住民参画モデル【住民参画セミナー】

- “タウンシップスクール黒崎マップ部”との連携
  - G-mottyを活用した情報発信セミナーの共同開催（2015/5/27）





## 2-2 率先的な住民参画モデルの活動開始

- タウンシップスクール黒崎マップ部との連携
  - ・ 黒崎nanoniらいぶらり♪mapの作成⇒G-mottyから配信

### G-motty 黒崎nanoniらいぶらり♪map

A story map   

「北九州市立八幡西図書館」と「黒崎びんホール」のオープンを機に、黒崎にお越しになる方、施設を利用されるかたに、歩いて楽しいまち＝黒崎を紹介したいと、まちや商店街の魅力を聞き取り、探検しました！このマップは、平成27年4月1日現在の情報です。定休日等は、変更になる場合があります。詳細は、各店舗にお問い合わせください。



- 元々、紙地図を作成していたが、作成直後に店舗が閉鎖になったり、新しい店舗ができたりで、情報の更新が課題だった。
- G-mottyを利用することで、追加・削除・修正がリアルタイムで行えるようになった。

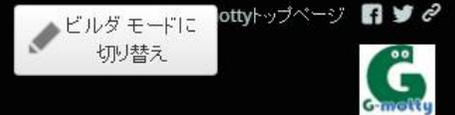


## 2-3 率先的な住民参画モデルの活動開始

- Goose Loc'R (グース・ロッカー)との連携
  - ・11月に開催する街歩きイベントに向けて準備中

### G-motty×Goose Loc'R 若松街歩きマップ

官宮八幡製鉄所は、当時の若松の都市力、人脈等により誘致できたといわれています。若松が無ければ、その後工業都市として発展した北九州市は無かったのかもしれない。



『若松が無ければ、北九州市は存在しなかった…』をテーマに「官宮八幡製鉄所」を誘致に関わった当時の『若松の都市力』・『若松が育んだ人脈』を紹介する街歩きイベントを実施予定



## 2-4 率先的な住民参画モデルの活動開始

- Goose Loc'R (グース・ロッカー) との連携
  - ・5月にGoose Loc'Rが主催するイベントに参加



- Goose Loc'Rは、『人と人をつなぐ人の駅』と称して北九州市内でイベントしたり、高齢者が作成した芋焼酎・らっきょう・プリンなどを作成販売している団体
- 彼らと一緒にイベント等を行い、G-mottyを住民に密着した地域情報ポータルサイトへ





# 2-5 率先的な住民参画モデルの活動開始

## ●兵庫県立大学との連携

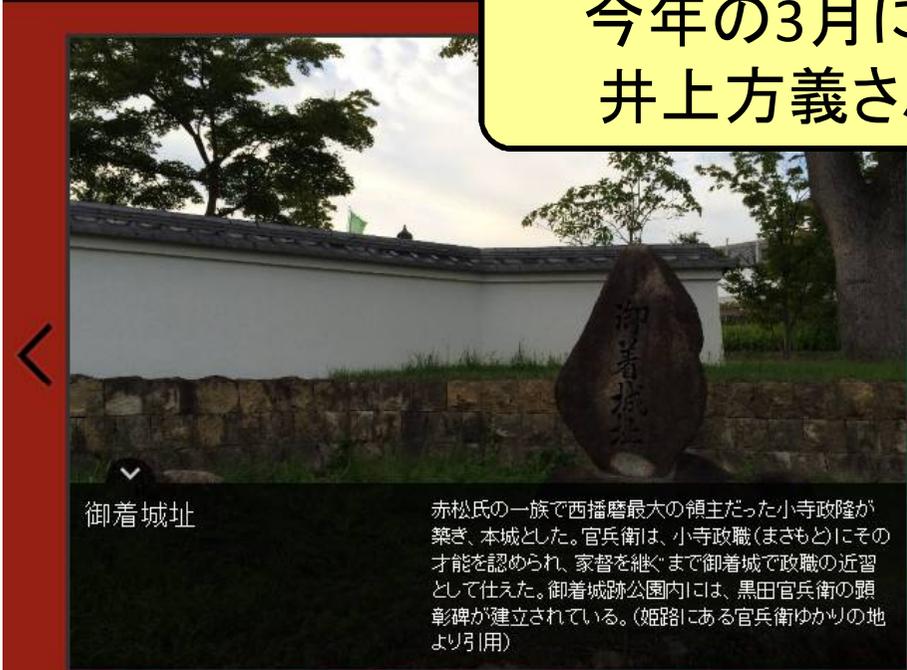
G-motty 黒田官兵衛ゆかりの地

赤のタグは、自治体の情報です。青のタグは、兵庫県立大学の学生が調査した内容で、テスト公開中のものです。緑のタグは、G-motty調べによる情報です。

G-mottyトップページ



今年の3月に兵庫県立大学を卒業した井上方義さんが調査してくれました！



御着城址

赤松氏の一族で西播磨最大の領主だった小寺政隆が築き、本城とした。官兵衛は、小寺政職(まさもと)にその才能を認められ、家督を継ぐまで御着城で政職の近習として仕えた。御着城跡公園内には、黒田官兵衛の顕彰碑が建立されている。(姫路にある官兵衛ゆかりの地より引用)



英賀神社

英賀城本丸之跡

国府山城址

元宮八幡神社

黒田隠居庵所

御着城址

小寺大明神

黒田家庵所



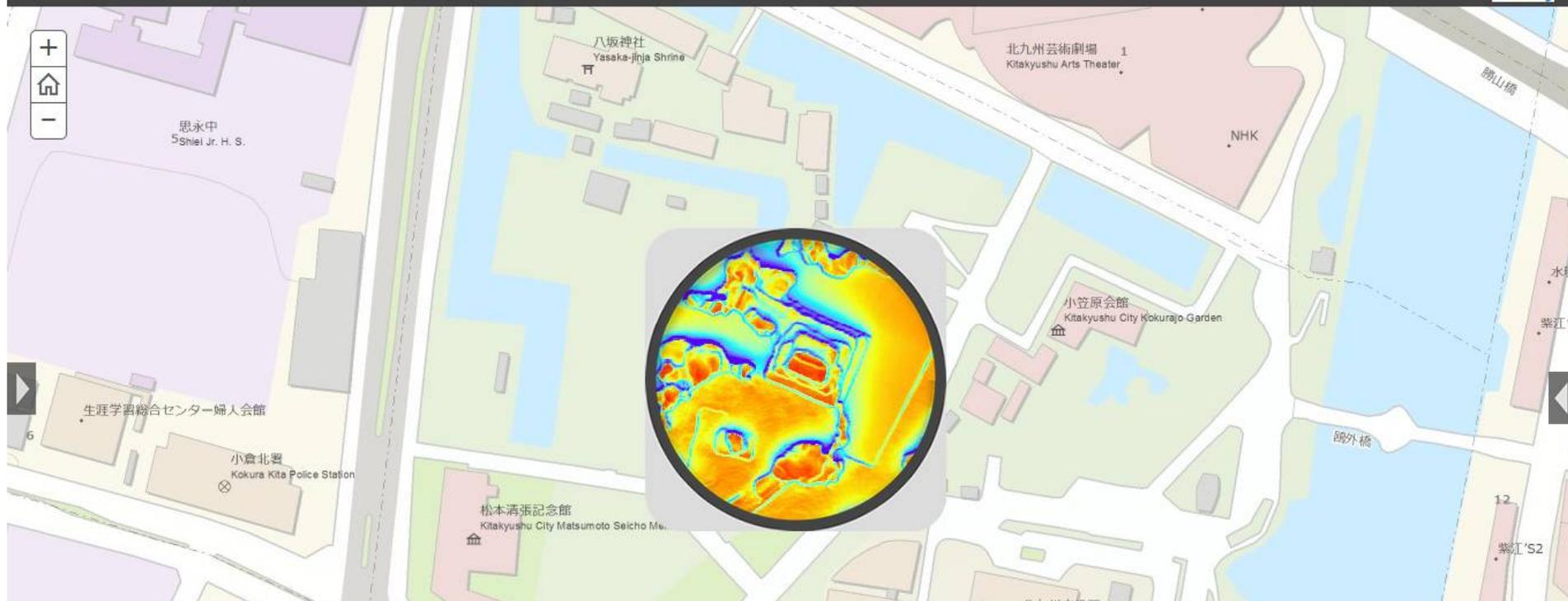
## 2-6 率先的な住民参画モデルの活動開始

### ●九州工業大学との連携

#### 日射量シミュレーション結果【テスト公開】

G空間シティ構築事業の日射量シミュレーションにおける解析結果です。

G-motty トップページ



●3次元の機能を使って、北九州市内の日射量に適した土地・屋根をG-mottyから見られるようにしています





## 2-7 率直的な住民参画モデルの活動開始

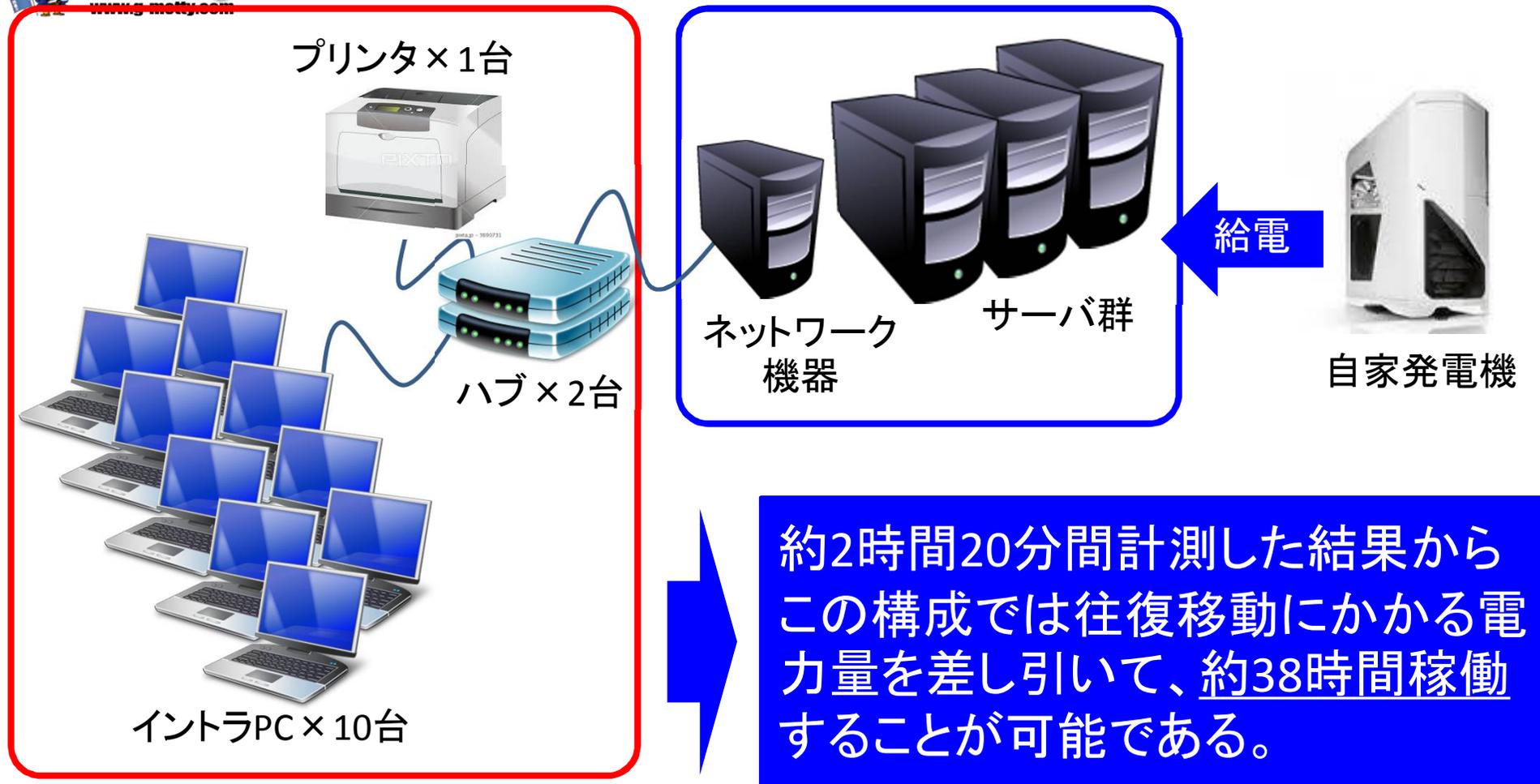
### ●九州工業大学との連携

項番	給電対象	詳細	対応日数
1	携帯電話	スマートフォン:200台 フィーチャーフォン:200台	3日間
2	テレビ	40インチ・液晶テレビ:5台 1日13時間視聴	2日間
3	電灯	LED:10灯 白熱電球:10灯 1日8時間使用(夜間のみ使用)	2日間
4	電気ケトル	113ℓのお湯を作成可能 カップラーメン:377杯分 粉ミルク:470本分	—
5	携帯電話+テレビ	スマートフォン:200台 フィーチャーフォン:200台 40インチ・液晶テレビ:5台 1日18時間33分視聴	1日間

台の!

目的(避難者が情報収集をできる)を絞ることで、  
避難所の電力を賄うことは可能である





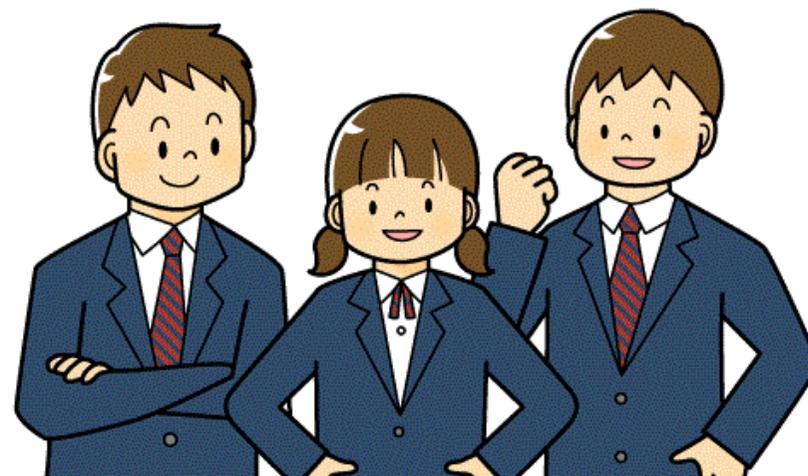
茨城県常総市の浸水被害でも分かったとおり、災害対応業務において電力確保は、非常に重要なファクターである。

### ●西南女学院大学と福岡県立小倉高等学校との連携【予定】

女子大生目線



高校生目線



北九州市若松区の課題解決と若松のPRを実施





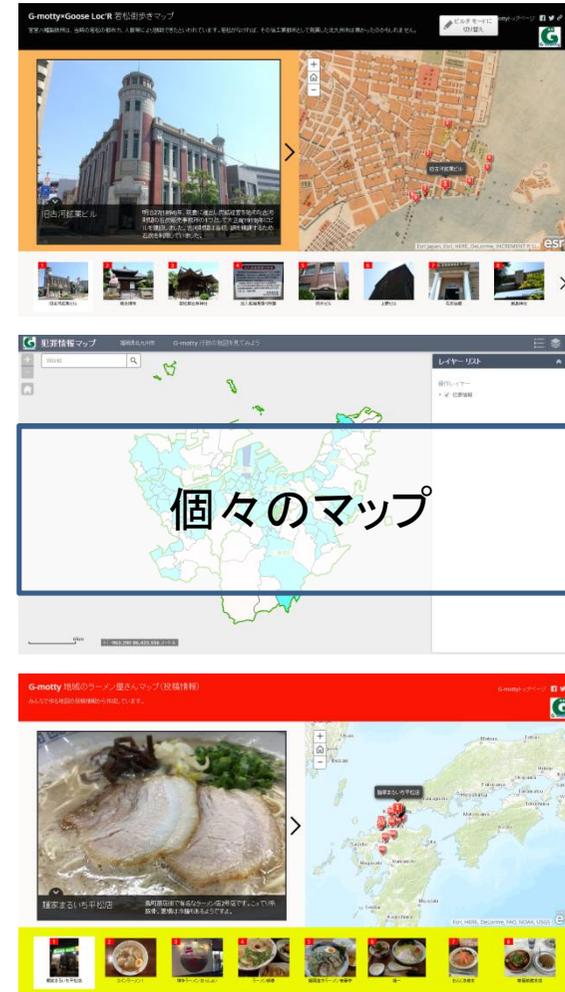
# 2-10 地元企業との連携

## ●株式会社ゼンリンとの連携

### ①地域情報ポータルサイトG-mottyの共同運営



ゼンリンが作成・修正・運用を行う



北九州市が作成・修正・運用を行う



### ●株式会社ゼンリンとの連携

#### ②突発業務の共同実施【熊本地震関連】

- 熊本市の住宅地図データの無償貸出  
⇒北九州市が熊本市中央区の避難所運営をする際にスマートフォンで住宅地図を見ることができるようにした。
- G-mottyの熊本地震関連ページや各種マップの作製  
⇒メニューページの作成をゼンリンが行った。  
⇒開設避難所のデータをゼンリンがHPの情報からポイントデータ化を実施し、北九州市がマップを作成し、日々の変更情報を更新している。  
⇒その他の各種マップ及びデータを北九州市で作成し、日々の変更情報を更新している。

今回の熊本地震での対応で、北九州地域で不幸にも大規模な災害が発生した時にG-mottyを活用して『しなければいけないこと』と『お互いの役割』が見えた



### ●株式会社ゼンリンとの連携

#### ③G-mottyを活用した全てのコトの共同実施

##### 【実施してきたこと】

- 小倉高校SSH(2015)の共同実施
- 九州大学大橋キャンパスでの講義の共同実施
- Goose Loc'Rとの連携(月例会議出席と決まったことの実施)
- 若松での街歩き調査
- G-motty Blog(ジモッティブログ)の記事作成
- イベントの実施  
(エコライフステージ・SAFETEC2015・Goose Meeting2016 etc)
- 総務省の事業受託(2015・2016)と特許の共同提案

##### 【実施予定】

- 小倉高校SSH(2016)の共同実施
- 若松での街歩きイベントの共同開催 etc



### ●「みんなで創る」プロセス

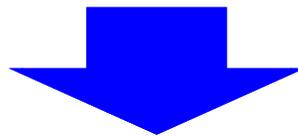
地域住民、地域の教育機関、地域企業との連携をしていますが・・・

①課題について”一緒に”議論する。

②”一緒に”現地の調査や詳しい人への聞き取り調査をする。

③課題を解決するための手段を”一緒に”考える。

④考えた手段を”一緒に”実行する。



「みんなで創る」＝地域の人々と”一緒に”話し、学び、考え、行動する

マップ作成が目的にならないように常に注意をしながら、  
一歩引いた目で活動状況を見ながら注意することが必要。



## ●「みんなで創る」がもたらす効果

### ①住んでいる人が住んでいる地域を見つめ直す（地域を知る）

⇒知っているようで、意外に知らなかったことが多い。

⇒住んでいる人は、“決めつけている”ことも多い。（あそこには人は来ない…など）

### ②住んでいる人が地域に愛着を持つ（地域を好きになる）

⇒発見した時は、みんな“キラキラ”した顔をする。

⇒“キラキラ”した顔をした人は、地域に愛着を持つことが多い。

### ③住んでいる人が地域をPRする（地域の魅力を発信する）

⇒地域に愛着を持った人は、行動したくなる。

⇒Goose Loc'Rとの若松街歩きは、地元に住んでいる人が「道先案内人」を務める

⇒人に伝える、教えることで、さらに地域を知ることになる。



**地域の伝道師が増えることが“地方創生”に繋がる！  
お金をかけて何かをすることが“地方創生”ではない！  
（ただし、お金がかからない分、時間と労力がかかる）**



- 1 G-mottyが目指すもの
- 2 『みんなで創る』G-mottyを利用した地域との連携
- 3 現地調査をしてみよう！

HAT神戸周辺の

『面白いモノ』、『かわいいモノ』、『気になるモノ』

を調査してみましよう！